



“未来への挑戦” はじめています

青森県知事 三村 申吾

一 はじめに

青森県では、昨年十二月、「青森県基本計画・未来への挑戦」を策定しました。

現在、私たちは、急速に進む人口減少、少子高齢化、そして世界規模での経済不況など、これまで誰も経験したことのない状況に直面しています。そのような中、持続可能な、自主自立の青森県づくりを進めるにはどうしたら良いか。

それには、県民生活の安全と安心を守りつつ、青森の持つ強みを生かし、更に強くしていく施策を重点的に進め、本県の新たな魅力や価値を創造していくことが重要であると考えています。

こうした考えの下、「安全・安心で県民一人ひとりが輝いて生きられる社会、そして心の豊かさ、命・健康・環境など、暮らしやすさが守られ、安んじて生きられる社会」を実現するための取組みを積極的に進めていきたいと考えています。

二 平成二十一年度の重点施策

過去に例を見ない厳しい経済・雇用環境は依然として続いておりますが、平成二十一年度は「青森県基本計画・未来への挑戦」のスタートの年であるとともに、来年十二月に予定されている東北新幹線全線開業のための準備もしつかりと進めなければならぬ年であります。

まず、喫緊の課題である「雇用の創出・

拡大」については、安全で安心な農林水産物や、水・環境・エネルギーといった本県の有する優れた資源を積極的に活用し、農商工の連携を進め、光技術関連産業の育成をはかるなど、これまで進めてきた取組みを加速します。また、既に創設したファンドや各種制度を活用して創業・起業を支援し、戦略的な企業誘致を進め、異業種参入を促進します。こうした取組みを進めながら、これらの活動により生じた知的財産の価値をより高めるため「青森県知的財産支援センター」を核として、知的財産の保護及び活用をはかって参ります。

また、県民が抱いている不安を取り除き、県民生活の安定を支えるため「あおり型セーフティネット」の構築を進めます。

医師確保のための取組みを進めるとともに、保健・医療・福祉サービスが一体となった包括ケアシステムを構築し、がん対策、生活習慣病対策に取り組みます。

そして、県民一人ひとりに直接影響のある、交通安全、防犯・防災などについても、県民の皆さんと協働しながら「安んじて暮らしていける地域社会」を目指します。

来年にせまった東北新幹線全線開業に向けては、県だけではなく、市町村や観光関係者を始め、県民が一致協力して、県民も、そして県外からのお客様も快適に利用できるような仕組みづくり、新幹

線を利用して多くの方に青森を訪問していただくための取組みを進めていきます。

あわせて、人口減少が進む中にあるは、県民一人ひとりが能力を高め、その能力を十分に発揮できる環境を整えることが重要であることから、すべての礎となる「人財」の育成にも積極的に取り組むこととし、新たな社会の創造に向けて「チャレンジできる人財」の育成を進めたいと考えています。

三 おわりに

平成二十一年度当初予算では、「青森県基本計画・未来への挑戦」推進のための重点施策を展開する一方で、昨年末に策定した「青森県行財政改革大綱」に沿って歳出改革の推進や財源確保の取組みを徹底し、財源不足額（基金取崩額）を前年度に比べ大幅に圧縮するなど、「自主自立の青森県づくり」の土台となる行財政基盤の確立に向けた取組みを着実に進めたところです。

健全な県財政と効率性・柔軟性を重視した行政組織づくりを進めながら、県民一人ひとりが安んじて、そして輝いて生きられる「生活創造社会」を目指して、これから「未来への挑戦」を進めたいと考えています。